

【報道各位】



## 世界遺産に宇宙桜が！ 岩手県釜石市 きぼうの桜植樹祭ご案内

岩手県釜石市は2018年4月14日、一般財団法人ワンアースが主催する「きぼうの桜」計画の一環として、極めて稀少な宇宙桜（贈呈元・福島県三春町、母樹は三春滝桜・樹齢1000年超）を植樹し、復興を祈念する。同植樹祭には野田武則・釜石市長のほか、鈴木義孝・三春町長や、宇宙桜大使犬・ソラも駆けつけ、地元・栗林小学校の全校児童約50名が「きぼうの桜」を合唱する。

植樹場所には直径20メートルのハート型の植え込みが造られており、その中心に宇宙桜を植えて町のランドマークにする。ハートの先端は苗の故郷・三春町を指している。植樹と同時に、ラピスラズリ球で作られた継石（きずないし）の埋設や山崎直子宇宙飛行士からのビデオ祝辞上映が行われ、新しい復興のシンボル誕生を祝う。

日時： 2018年4月14日（土） 14:00-

場所： <式典> 釜石市橋野鉄鉱山インフォメーションセンター

<植樹> 橋野鉄鉱山内 憩いの広場

【きぼうの桜とは】 一般財団法人ワンアースが推進する東日本大震災復興支援事業。その種が8ヶ月半宇宙を旅した日本屈指の名桜の直系子孫（宇宙桜）を被災地全市町村の津波到達点上に植え、千年風化しない避難の目印として、そして宇宙からも見える復興のシンボルとして、この星の子孫たちに残す前例のない広域事業。東北三県沿岸全37都市および福島市、飯舘村、川俣町と調整中、うち10都市で、2018年4月までに植樹完了予定。

【宇宙桜とは】 2008年に有人宇宙システム株式会社が行った社会貢献事業「花伝説・宙へ！」によって誕生した桜。日本各地で少年少女らの手によって集められた千年級の名桜（山高神代桜、根尾谷淡墨桜、三春滝桜、醍醐桜、ひょうたん桜、角館武家屋敷枝垂桜など）の種が、若田光一宇宙飛行士とともに国際宇宙ステーション「きぼう」に8ヶ月半（2008.11/15から2009.7/31）滞在し、地球帰還後にそのごく一部が発芽して「宇宙桜」が生まれた。同宇宙事業を発案した長谷川洋一が、2015年に一般財団法人ワンアースを設立した。宇宙桜の苗は現在でも稀少な地域の宝物だが、ワンアースの呼びかけに応え、東北復興のためならば、と各地で苗を増やし贈呈準備をしている。

<お問い合わせ> 一般財団法人ワンアース 長谷川洋一  
〒301-0003 茨城県龍ヶ崎市平台4-20-6  
090-9230-8586 [hasegawa@the-one-earth.org](mailto:hasegawa@the-one-earth.org)  
ホームページ <http://www.the-one-earth.org/jp/>

# 「きぼうの桜」植樹祭



三春町「三春滝桜」

日時：平成30年4月14日（土）14：00～15：00

場所：釜石市橋野町青ノ木

【式典】釜石市橋野鉄鉾山インフォメーションセンター

【植樹】橋野鉄鉾山内 憩いの広場

釜石市

# 次 第

## 【式 典】

- 1 開会
- 2 主催者挨拶 釜石市長 野田 武則
- 3 きぼうの桜プロジェクト概要説明  
一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川 洋一 様
- 4 来賓挨拶 三春町長 鈴木 義孝 様
- 5 来賓紹介
- 6 ビデオレター  
一般財団法人ワンアース名誉顧問宇宙飛行士 山崎 直子 様
- 7 継石及び宇宙フライト証明書贈呈  
一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川 洋一 様
- 8 記念ステージ  
歌「きぼうの桜」合唱 釜石市立栗林小学校児童

## 【植 樹】

- 1 継石お披露目及び設置  
釜石市長、釜石市立栗林小学校児童
- 2 土かけ  
三春町長 鈴木 義孝 様  
橋野町振興協議会長 和田 松男 様  
釜石市立栗林小学校児童会長 佐々木 健心 様  
釜石市長 野田 武則
- 3 水やり  
栗林小学校児童
- 4 記念撮影
- 5 閉会

# 岩手県釜石市植樹場所：世界遺産橋野鉄鉱山



## 三番高炉

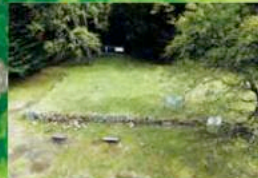
花崗岩の基壇2段の上に約5.4m四方、高さ2.8mの花崗岩の石組（5段）が積まれており、四隅には縦長の花崗岩が配置されている。当時の高さは約7.0m。高炉中央に炉底塊がある。この石組形式は、大橋高炉においても採用されており、初期の高炉の基本形であったと考えられている。

## 二番高炉

花崗岩の基壇1段の上に約4.8m四方、高さ2.4mの花崗岩の石組（4段）がある。絵図には9段の石組が描かれており、当時の高さは約7.9m。フィゴ座と湯だし口の配置は一番と同じ。高炉中央に炉底塊がある。

## 一番高炉

花崗岩の基壇1段の上に約4.8m四方、高さ2.4mの花崗岩の石組（4段）がある。送風口が東側に設置されている。（岩系の石と考えられる。）た。石組の炉の内側には、高さは約7.8mであった。



## 御日弘所

高炉の従業員に資金を支払うほか、採掘場から運ばれた鉄鉱石の管理、出来た鉄鉄の製品管理を行う事務所でもあった。また持ち込まれる餅鉄の購入も行ってた。



## 種焼場・種積場・種砕水車場

種とは鉄鉱石のことである。採掘場から運ばれた鉄鉱石を高炉に投入する前に、不純物の除去や破砕を行う必要がある。鉄鉱石を加熱・破砕する場を種焼場と呼び、人力で作業が行われたほか、水車も設置されていた。



長屋・鍛冶長屋・大工長屋  
最盛期には約1000人の従業員がいたとされ、大工や鍛冶などさまざまな職人が住む長屋や作業場もあったとされている。

植樹場所

4/1~12/8  
ガイドあり  
トイレあり  
自販機あり